

2023 年 9 月 1 日災害時被災状況報告訓練について

会員広報出版委員会

神奈川県病院薬剤師会では例年、大規模災害に備え災害時被災状況報告訓練を実施しています。災害時には被災状況を取りまとめ把握することから始まります。今回の訓練では、前回に引き続き、報告方法を FAX、メール以外に神奈川県病院薬剤師会ホームページに直接送信信用の災害時被災状況報告書連絡フォームを設けました。

また被災想定として、近年、台風等の大雨の影響もあるため、神奈川県災害情報ポータル(<https://www.bousai.pref.kanagawa.jp>) のハザードマップより、自施設付近の洪水、内水、土砂災害の危険度から被災状況を想定して頂きました。

各施設からの災害時被災状況報告書を取りまとめましたので報告いたします。

【被災想定】

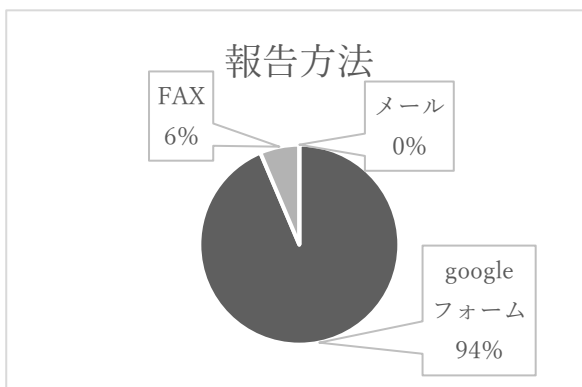
被災日時：令和 5 年 9 月 1 日（木曜日）9 時時点

災害規模：神奈川県全域大型台風が本土に上陸し、神奈川県全域に大雨洪水警報発令
日降水量 680mm、最大 1 時間降水量 140mm

1. 報告施設件数

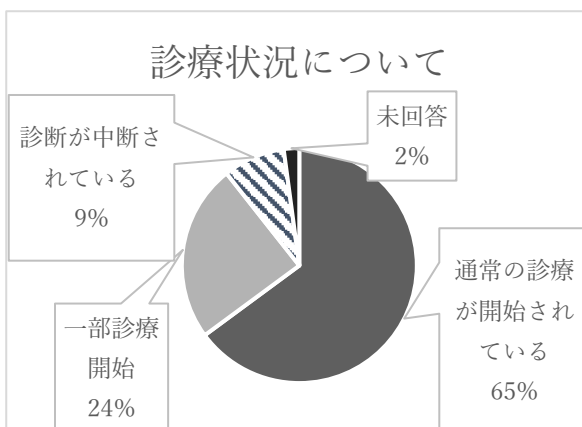
	施設数
Google フォーム	88 件
FAX	6 件
メール	0 件
合計	94 件

回収率 28.3% (94 施設/332 施設)



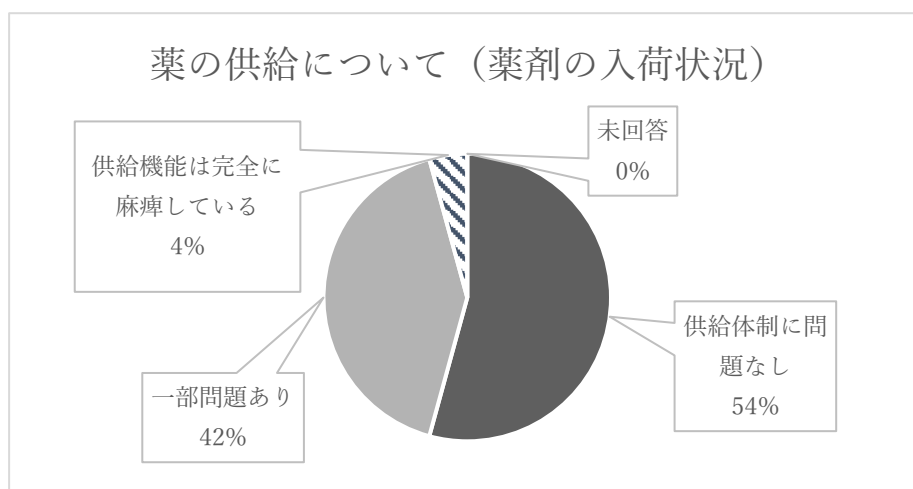
2. 診療状況について

通常の診療が開始されている	61 件
一部診療開始	23 件
診療が中断されている	8 件
未回答	2 件



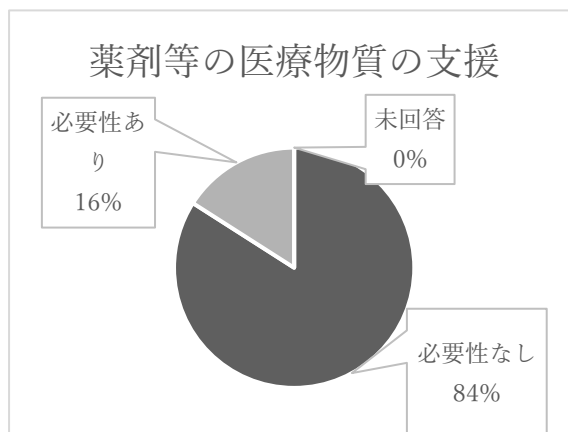
3. 薬の供給について（薬剤の入荷状況）

供給体制に問題なし	51 件
一部問題あり	39 件
供給機能は完全にマヒしている	4 件
未回答	0 件



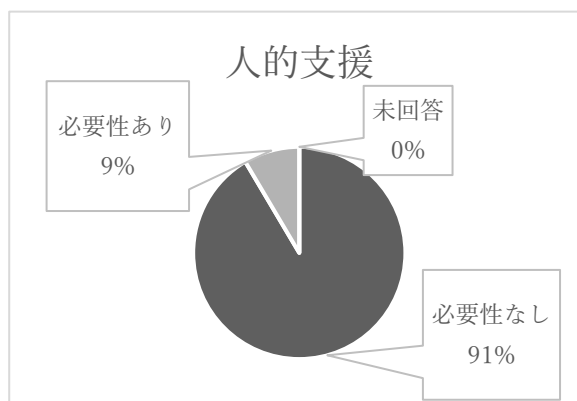
4. 薬剤等の医療物資の支援

必要性なし	79 件
必要性あり	15 件
未回答	0 件



5. 人的支援

必要性なし	86 件
必要性あり	8 件
未回答	0 件



まとめ

今回の報告訓練でも神奈川県病院薬剤師会ホームページに直接送信用の災害時被災状況報告書連絡フォームを設けました。連絡フォームからの報告は今回の調査で 94%と多くを占め、年々、周知されてきていると考えております。報告施設数は 94 施設と全会員施設の 28.3%であり、報告施設数の増加は引き続き今後の課題と考えます。

近年、台風の発生が多く、大雨による影響を常に考え、薬剤部のマネジメントを行っていかねばならない状況です。また神奈川県災害情報ポータルのハザードマップも合わせて確認していただくことにより、より具体的に自施設付近の洪水、内水、土砂災害の危険度から被災状況を想定して頂きました。大雨の交通の乱れによるスタッフの出勤への影響や納品の遅れ、また河川近くのご施設では内水等による外来診療の中止等の対応を確認して頂けたかと思います。

今後は、ご報告いただいた被災状況を把握し、その状況への対応策や、情報をどう生かしていけるかなど、報告方法の検討していきたいと考えております。

今後とも、ご協力よろしくお願いいたします。

報告施設件数推移

年	2019	2020	2021	2022	2023
報告施設数	89	67	98	105	94
会員施設数 ※)	343	339	333	333	332
報告割合 (%)	25.9	19.8	29.4	31.5	28.3

※) 事業概要報告書より